

平成26年7月11日 前線に伴う出水で
やぎさわ ぼうさいそうさ
矢木沢ダムは防災操作を行いました

防災操作により矢木沢ダムに約19万³m³を貯留

矢木沢ダム流域では、降雨により、7月11日8時頃から19時まで
に総雨量約26mm（矢木沢ダム流域平均）を観測しました。

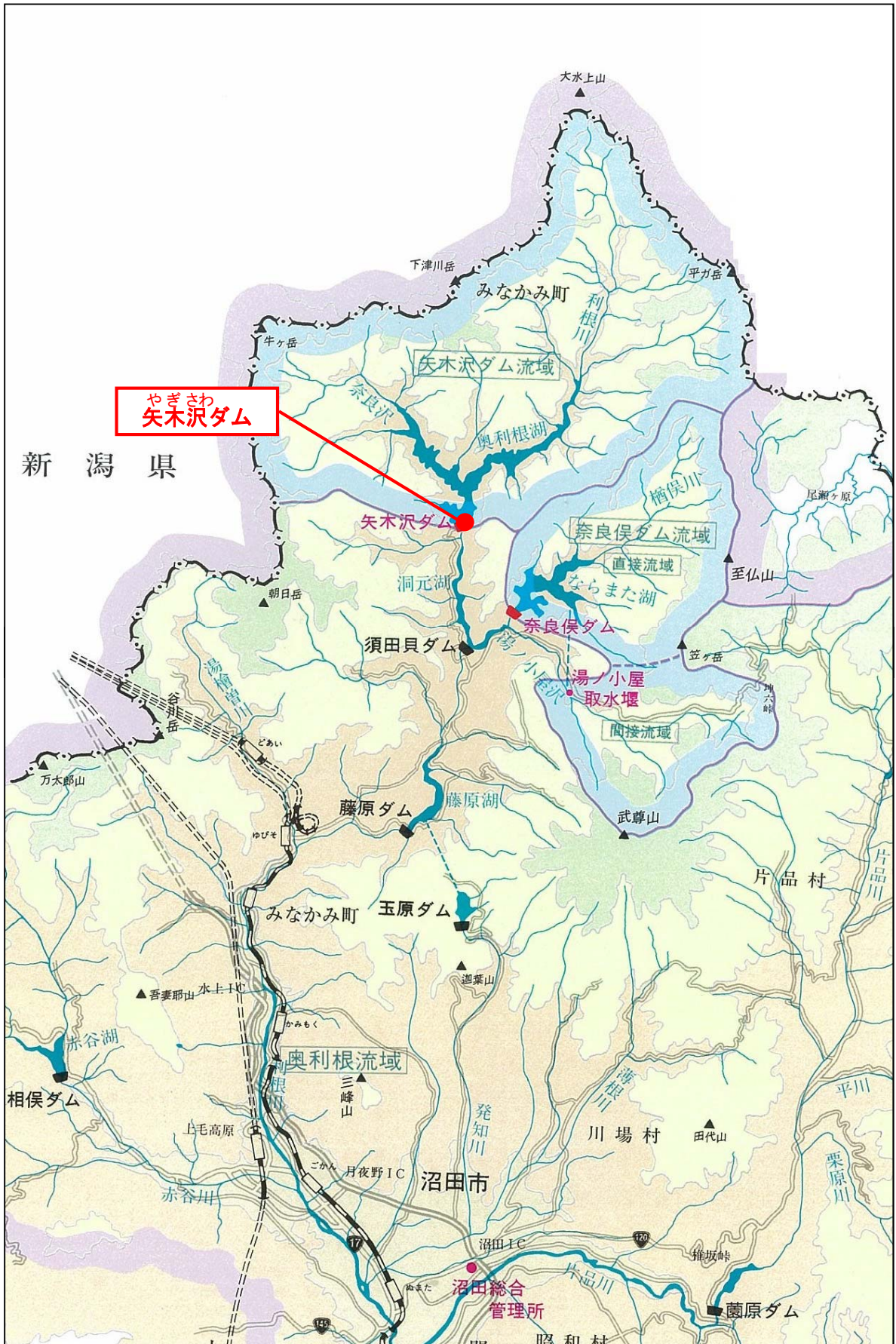
この降雨によってダムへの流入量が増えたことにより、11日12時
40分に流入量（最大で毎秒約119立方メートル）が洪水量に達した
ため、防災操作を実施しダムに約19万立方メートルを貯留しました。

今後も、矢木沢ダムでは適切に防災操作を実施し、下流地域の洪水被
害の防止・軽減に努めていきます。

ぼうさいそうさ
※防災操作とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的
に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を
低減させることです。

注) 数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図

